ＦＢＡ発第 172 号

令和元年5月13日

各加盟団体長　殿

 福井県バドミントン協会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　 会 長　 中　嶋　光　司

 （公印略）

第３６回全日本シニアバドミントン選手権大会福井県予選会実施要項

１．大 会 名　　第３６回全日本シニアバドミントン選手権大会福井県予選会

２．主　　催　　福井県バドミントン協会

３．開催日時　　令和元年 ７月１４日（日）

８：３０　会場準備（参加者もご協力下さい）

９：００　開会式

４．会　　場　　福井市西体育館（福井市飯塚町10-8　TEL 0776-33-1414）

５．対象年代　　すべての年代　（70歳以上、65歳以上、60歳以上、55歳以上、50歳以上、45歳以上、

40歳以上、35歳以上、30歳以上の男子・女子）

６．競技種目　　シングルス：30歳以上男子、35歳以上男子、40歳以上男子

ダブルス　：上記以外の年代

７．選考方法　　別紙を参照すること。

８．競技規則　　現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規則による。

９．試 合 球　　第１種水鳥検定合格球を対戦者同士が出し合うこと。

10．競技方法　　各年代の参加数が３以内ならばリーグ戦、４以上ならばトーナメント戦を行う。

　　　　　　　　ただし、申し込み状況によっては競技方法を変更する場合もある。

11．参加資格　　◆本年度福井県バドミントン協会登録者で、第36回全日本シニアバドミントン選手権大会の出場を希望する者。

◆上記各種目の年齢に達していること。（年齢起算日は2019年4月１日とする。）

◆予選会には、全日本シニア大会に出場する年代及び同一ペアで必ず参加すること。予選会に出場した年代及びペア以外での全日本シニア大会の参加申し込みは受け付けない。ただし、予選会に出場した競技種目以外の種目に出場する場合の年代は除く。

◆他都道府県に所属する選手を複のパートナーとして申し込むことを認めない。

◆予選会参加申込者で、予選会当日に本人が会場に来て受付及び試合をすることができない場合は、失格とする。

ただし、慶弔等により当日参加できない者に限り、二次募集者に含める場合がある。

◆その年度の国体選手は参加できない。

　　　　　　　　◆公認審判員資格を取得している者。ただし、今年度に公認審判員資格検定会を受験して、第36回全日本シニアバドミントン選手権大会までに資格を取得する者も認める。（後日、取得の有無を確認します）

12．参 加 料　　１人　１，２００円

◆当該年代の申込が１組（または１名）のみで予選なしで出場候補者となった場合も、参加料は返還しない。

13．申込方法　　**別紙「大会申込方法」にて確認ください。**

14．送 付 先　　**別紙「大会申込方法」にて確認ください。**

15. 振込口座　　**削除**

16．申込期間　　**別紙「大会申込方法」にて確認ください。**

17．組み合せ　　県協会大会事業部会において組み合わせる。

18．表　　彰　　な　し

19．代表決定　　県代表選手は、本予選会の結果をもとに出場候補者の中から県協会常任理事会で正式に決定される。

20．問合せ先　　福井県バドミントン協会大会事業部　内藤正晃　　携帯電話 090-2378-6531

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　近葉裕子　　携帯電話 090-2836-3212

21．そ の 他　　◆第34回全日本シニア選手権大会は、11/21（木）～24（日）、福島県郡山市他にて開催されます。参加申し込み、選手割当数等の詳細は別紙を参照してください。

　　　　　　　　◆75歳以上及び80歳以上の種目は、公開種目（フリー参加）となります。県協会ホームページに参加申込書の様式を掲載しますので、出場希望者は、参加申込書を記載の上、予選会当日に全日本シニア大会の参加料（一種目一人あたり5,000円）を持参して本部へお越しください。6月23日に開催の県シニア大会（敦賀市）でも受け付けます。

◆大会参加者で審判手帳を持っている方は、当日お持ちください。(押印します)

◆競技中の傷害等の事故発生の場合、主催者は応急処置のみを行います。参加各人において、別途傷害保険に加入することが望ましい。

◆大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

以上

別紙

１．選手割当数の取り扱いについて

　　　全日本シニア大会の各都道府県の選手割当数については、有資格者を除き、「最低割当数6＋（前年度登録者数※）×5%」と定められており、福井県は例年45～50人程度の割り当てがあります。

　　　福井県バドミントン協会としては、全日本シニア大会の県代表選手の選考を「２．選考方法について」のとおり行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

※ 前年度登録者数・・・平成30年度日本バドミントン協会登録区分一般登録者数

全日本シニア大会出場の有資格者は、前年度同大会のベスト16の選手となります。

２．選考方法について

（１）予選会への参加申込者数が選手割当数を超えた場合、次の順により、全日本シニア大会の出場候補者を選考する。

（出場候補者とは、全日本シニア大会への出場権を得る候補者のことを指し、出場の可否については県協会常任理事会にて決定される。）

①予選会における各年代の第１位の選手。ただし、シングルスで選考された選手(30･35･40歳以上男子)がダブルスに出場したい場合、そのパートナーとなる選手を含む。（下記注意事項を参照すること）

　　◆①で選手割当数を超える場合

　　　　　②下の表の該当する年代の選手（太枠内の年代）を順に除く。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
| 調整１ | 70男・女 | 65男・女 | 60男・女 | 55男・女 | 50男・女 | 45男・女 | 40男・女 |
| 調整２ | 50男・女 | 45男・女 | 40男・女 | 70男・女 | 65男・女 | 60男・女 | 55男・女 |

◇以降は、②までの方法を実施した結果、選手割当数を超える場合において、次の順に該当する選手を優先的に選考する。

③①のうち、有資格者をパートナーとする選手。

　　　　　④①のうち、有資格者が選んだパートナーとなる選手。ただし、有資格者の予選会への出場の有無は問わない。

　　　　　⑤①のうち、予選会で参加者人数の多い年代の選手。

　　　上記②～⑤でそれぞれ選考する際に、該当する選手が複数いる場合は、県シニア大会の結果等を参考に選考する。

　　◆①で選手割当数を超えない場合

　　　　　②有資格者の選んだパートナー(予選会に出場)となる選手。ただし、有資格者の予選会への出場の有無及び、パートナーの予選会の順位は問わない。

　　　　　③各年代の2位となった選手。ただし、参加者人数の多い年代の順から選考する。

　　　上記②～③でそれぞれ選考する際に、該当する選手が複数いる場合は、県シニア大会の結果等を参考に選考する。

また、上記による出場候補者を加味しても福井県の選手割当数を超えない場合は、県予選会の結果を参考に、参加者人数の多い年代の順に出場候補者とする場合がある。（県協会常任理事会にて選考する。）

◇注意事項

・ダブルスで選考された選手が混合ダブルスに出場したい場合は、そのパートナーは、有資格者または出場候補者の中から選ばなくてはならない。また、シングルス及びダブルスの有資格者が混合ダブルスに出場したい場合も、同様とする。

（２）予選会への参加申込者数が選手割当数を超えなかった場合、予選会への参加申込者は全員出場候補者とし、残りの選手割当数については、期間を定めて、出場候補者の２次募集を行う。なお、募集する種目は、ダブルス、シングルス、混合ダブルスの区別及びパートナーの制限は設けない。ただし、２次募集に申込みした人数が選手割当数を超える場合は、県シニア大会の結果等を参考に選考する。

３．全日本シニア大会に関する手続きについて

①前年度全日本シニア大会でベスト16に入った選手（有資格者）には、個別に出場確認の書類を送付します（6月中旬送付予定）ので、必要事項を記入のうえ、７月１０日（水）までに必ず返送してください。

②本予選会で出場候補者となった選手は、本予選会終了後、全日本シニア大会の仮申し込み手続きを行います。

全日本シニア大会の参加料（一種目一人あたり5,000円）を予選会当日に仮納入していただきますので、準備をお願いします。

なお、公認審判員資格者は、確認のため日本バドミントン協会会員証及び審判手帳をご持参ください。